

## 7月例会「東京都の特別支援教育」

東京都教育庁指導部主任指導主事・太田裕子先生

7月28日こまばエミナースにて例会が開かれました。この4月から「特別支援教育」が本格始動して1学期が経過しました。これを受け東京都教育庁主任指導主事の太田裕子先生から「東京都の特別支援教育、1学期が経過した時点での反響や実績など」の演題で講演いただきました。

当日は幅広い分野から70名以上の参加者がありました。「特別支援教育」に関する文科省や東京都の考え方、各地区のモデル事業の紹介、第一次および第二次実施計画の概要などの解説に続き、「高等学校における特別支援教育」についての話もあり、大変中身が濃く現実に即した内容でした。質疑応答では各方面からの切実な質問が数多く出されました。始動4ヶ月でまだ混乱があるなか、関係者のみなさんの「特別支援教育」を充実したものにしようという熱い思いが伝わった講演会でありました。

### 太田先生の講演内容より

東京都の特別支援教育については、東京都教育委員会ホームページからダウンロードできる。下記を参照。

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/gakumu/tokubetsushien/menu.htm>

東京都における特別支援教育推進計画 第一次実施計画の実施状況から  
第一次実施計画 平成16～19年度

特別支援教育体制とは

校内体制としては

小・中学校の各校に校内委員会の設置 特別支援教育コーディネーターの指名  
個別の教育支援計画・個別指導計画

区市レベルでは

特別支援学級の弾力的な運用 専門家による巡回相談やボランティア等の活用

北区での取り組みから

特別支援教育を視野に入れた学校経営

学校経営計画の柱に特別支援教育を位置づける。

学校の教育課程の指導の重点等に特別支援教育を位置づける。

校内組織の中に校内委員会や特別支援教育コーディネーターを位置づける。

特別支援教室を活用した巡回相談・巡回指導の試行

通級指導学級の担当教員が行う巡回相談

教員免許状を有する非常勤講師による巡回指導

#### 支援終了のシステムの開発

- ・3～6ヶ月でいったん支援終了。
- ・終了後は校内委員会と巡回相談員を中心にフォローアップ

#### 調布市のモデル事業の取組から

学校における校内支援体制の充実 校内委員会運営マニュアルの作成  
巡回相談を実施した成果 教員の具体的な対応の共通理解が図られた

スクールサポーター，学生等による巡回指導

スクールサポーター制度（6名在籍）

学習支援員派遣制度，学校からの要請に応じ，週1回程度学習支援員を派遣する。

- ・スクールサポーターへの研修
- ・個別指導計画の提出義務

白百合女子大学と連携した学生ボランティア

- ・大学のカリキュラムに位置付けたボランティア
- ・今年度，小学校に派遣

#### あきる野市のモデル事業の取組から

支援をつなぐ就学支援シートの取組

幼児期と学齢期の支援をつなぐために

就学先が決定した時期に、すべての就学児の保護者に配布

支援を希望する保護者が、在籍した幼稚園・保育園等とともに作成

小学校の入学対策委員会が関係幼稚園・保育園と引継

入学式前から校内委員会で支援を検討

入学式のその日から支援

#### 八王子市のモデル事業の取組から

広域な区域をもつ八王子市

子ども家庭部、保健所、子育て相談センターとの連携

都立特別支援学校との連携

地域のNPO法人等との連携

帝京大学・中央大学・明星大学・首都大学東京・創価大学等との連携

就学前の関係機関及び通級指導学級との連携

#### 第一次実施計画の今後の概要

##### ア 知的障害特別支援学校の設置

- ・H23 品川地区養護学校（仮称）開校予定
- ・H24 江東地区第二養護学校（仮称）開校予定

##### イ 知的障害が軽い生徒の特別支援学校高等部の設置

- ・H21 青梅東学園養護学校（仮称）（知肢）開校予定
- ・H22 南多摩学園養護学校（仮称）（知高等部）開校予定

#### ウ 知肢併置校の設置

- ・ H21 永福学園養護学校（知）に肢体不自由教育部門を設置予定

#### 情緒障害等通級指導学級について

新設学級や学級増になるところが増えている。

新たな担任の学級が増えている。

個別指導計画の作成などで連携を強める。

内容について、十分に話し合うようにする。

通級のシステムの十分な理解 入級、退級のシステムの改善

補足資料 講演会終了後の最新情報については下記をご覧ください。

東京都特別支援教育推進計画 第二次実施計画について 平成19年11月22日

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr071122g.htm>

<問い合わせ先> 教育庁学務部義務教育特別支援教育課 電話 03-5320-6753

## 9月例会 グループ別の交流会

9月22日多摩障害者スポーツセンター集会室において、例会を開催しました。今回は会員相互の交流を深めるため、グループ別の懇談会といたしました。

日頃の子育てや学校、就労等々で思っていることを交流しました。特に新規入会されてきた方たちのお話には、以前と比べLDを取り巻く環境は、少しずつ良くなっているとはいえ、まだまだ無理解や誤解による問題が多いということが痛感させられました。

LDのことを周囲にどう知らせ、どう理解してもらうかも大事ですが、その前に親やご本人がどうとらえていくのか、LD理解は支援を得るためだけのものなのか、などいろいろな意見交流ができたようです。会全体での交流会というものなかなか機会も作りにくいものですが、これを機に各自主グループ等の活動へと発展していくと良いのではと思いました。

## 11月例会 立川警察署防犯係統括係長 鷲 敏雄 警部補

コミュニケーションの苦手な子どもたちにとって、トラブルの対処法を事前に知っておくことは、とても有効なことです。家の中ではパソコン、外出中にも携帯電話や勧誘や事故・災害・・・と身の廻りに不安がいっぱいです。親の目の届かないところで、「何か起きる」前に、どんな話し合いをしておけばよいのか。この機会に家族の中で、伝えておくこと・決めておくことを確認する機会が必要です。

今回は、警視庁立川警察署より担当の方をお招きして、トラブル解決のヒントを教えてくださいました。トラブルに巻き込まれそうになった、あるいは不幸にして巻き込まれてしまった場合、第三者に助けを求める必要があるわけですが、状況を正確に伝えるための工夫を普段からしておくことが大切であるとのことでした。（11月3日開催）